

明星

亀山市立白川小学校だより
第11号
平成27年5月8日 (文責 浅熊)

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成

お天気に恵まれて、全校田植え

佐野築さん、平川定弘さん親子、佐野重雄さんにお世話になり、今年も佐野光代さんの田をお借りして全校での「田植え」を行いました。

学校から、5、6年生を先頭になかよし班で田んぼまで歩いて行きました。お天気の心配もなく、晴れ渡った5月の空の下で、思った以上に水の冷たさも感じることなく、楽しく活動ができました。

最初に開会式を行いました。多くの保護者の方にも来ていただき、あいゆさん、きらさんの司会で、児童会長のかいりさんより「がんばって植えましょう。」のあいさつがありました。その後、講師の築さんはじめ4人の方の紹介と、植え方の注意を教えてくださいました。

いよいよその後、田の畦に横1列に並び、佐野さんから「苗は2、3本を持って、植えるんだよ。」「ひもの赤い印の手前のところを目安にして、植えていきましょう。」等、苗の植え方や注意するところを聞きながら、一人ひとり苗の束をつかんで田んぼに入っていました。

植え始めると、さすが高学年は何度も経験していることもあって、手慣れた手つきで、植えやすいように足下をならしながら、次の植える場所を決めていくといった、ちょっとした工夫ができるなど、経験のすばらしさを感じました。

低学年は、初めて入った田んぼの泥の感触に喜びながら、お兄さんお姉さんの指示を聞いて上手に植えていました。

一列植えるごとに、きれいに並んだ苗が見事に列を作っていました。

植え終わって、足を洗い野上がりのいばら餅を食べながら、平川さんの運転する機械植えの様子を見せていただきました。

「はやい・・・!」「きれいに植えていくなあ。」と驚きの声も聞こえてきました。

でも、みんなが植えた苗も、田植えが終わって上から見ると、一列にきれいにそろっているのがみえました。みんなの、協力のあとが見られる景色でした。

おいしいお米が秋に実るころ、また、全員で稲刈りすることを楽しみに、田んぼを後にしました。

ご協力いただいた、保護者の方、地域の方本当にありがとうございました。





お天気にも恵まれて、
さあ、出発です！



苗の深さも気をつけて、
ていねいに・・・



5年生は、田植機に乗せて
いただき、機械植えも体験
しました。

